

いちご「スカイベリー」の低温対策について

平成26年 12月24日

経営技術課技術指導班

☆12月に入り、曇雨天日、さらに、平均気温が3℃を下回る日が多くなっています。

☆気象予報によると、向こう1か月の予想では、気温は平年並の予想ですが平年に比べ晴れの日が少なく、降水量は平年並または多い確率ともに40%です。(12/20~1/19)

☆品質及び食味の維持、向上のためには、温度管理が重要です。あらためてハウス内の環境を確認し、改善、工夫できることはすぐに行いましょう。

☆今後の栽培管理について！

ハウス内温度の低下等により、株疲れ、果実成熟日数の長期化、食味の低下、生育の停滞などの影響が懸念されます。そのため、以下のような適正な栽培管理に努めましょう。

1 温度管理について

- 1) 目標の温度を確保できるよう、換気量や暖房機の調整、整備を行う。
- 2) 外張りやカーテンの隙間を無くし、保温効果が下がらないようにする。
(入口を2重カーテンにしたり、保温マットを設置することも効果あり)
- 3) 換気時に急激な温度低下があり、ハウス内が20℃以下になっている事例がみられるので注意する。併せて、温度が正確に測れているか、測定位置などを再度確認する。
- 4) 早い時間帯から27~28℃を確保するなど、ハウス内の温度を高めに管理する。
- 5) 地温は17℃を目標にこまめに確認し、地温の確保に努める。

2 その他の管理について

- 1) 定期的な追肥を行う。
- 2) こまめなかん水を心がける。
- 3) 早朝の加温を考慮し、炭酸ガス施用を行う。同時に、無換気の時間帯では積極的に炭酸ガス施用を行う。
- 4) 曇雨天時には循環扇を活用し、積極的に空気を動かす。

※ 詳しくは『いちご「スカイベリー」栽培マニュアル』を参考にしてください。